【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2017-161984(P2017-161984A)
【公開日】平成29年9月14日(2017.9.14)
【年通号数】公開・登録公報2017-035
【出願番号】特願2016-43350(P2016-43350)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｇ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｇ　1/00　D

【手続補正書】
【提出日】平成30年2月9日(2018.2.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
前記車両の走行時の走行シーンを判定するシーン判定手段（２１）を備え、
前記評価手段（２３）は、更に、前記シーン判定手段（２１）により判定された前記走行シーン毎に区分して、運転操作を評価することを特徴とする請求項１から３のいずれか一項に記載の車両用運転評価装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するために、本発明の車両用運転評価装置（１）は、車両に搭載され運転者の運転操作を評価して通知するものであって、車両の走行時における運転操作状況を検出して記録する記録手段（２３）と、前記記録手段（２３）の記録に基づいて運転者の運転操作を評価する評価手段（２３）と、前記運転者の状態を推定する状態推定手段（２７）とを備え、前記評価手段（２３）は、前記状態推定手段（２７）により推定された前記運転者の状態毎に区分して、運転操作を評価するところに特徴を有する（請求項１の発明）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、前記車両の走行時の走行シーンを判定するシーン判定手段（２１）を設け、前記評価手段（２３）は、更に、前記シーン判定手段（２１）により判定された前記走行シーン毎に区分して、運転操作を評価するように構成しても良い。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
尚、本発明は、上記し図面に示した一実施形態に限定されるものではなく、例えば以下に例示するような、様々な拡張や変更が可能である。